



今月の随筆

(すいひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。)

「その地に非ざればこそ樹(つ)」けれども生せず。その意非ざればこそうして生きる「つが考ふる」とが印象に残りました。

植物は、その樹の成長に合ひて、土地に植えなければ種をまいても育たず、枯れてしまつ。人も勉強しようと意図のなじむにいくつ教えよつとしやよい結果は望めないと、意味です。

第一次安倍政権で掲げられた「地方創生」東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げる」とを目的とした一連の政策です。地域おこし協力隊は主に三大都市圏内に住んでる人が応募できることです。つまら多くの人が田舎暮らしの経験がありません。

天龍村に来たところであって神奈川県で住み続けていたら考えもしなかつたことを経験することができました。許すところ語あるところの大切さも学びました。

縁があつて天龍村に来たので近隣で新しい仕事を探しています。もしもどか他に縁があればそこで頑張りつとも思ひます。協力隊としての活動はあと数日で終わります。ありがとうございました。

遠山百貨店は引き続き十一月も毎週月曜日に営業します。よろしくお願いします。

文・上野 真純



刻々天龍村 神無月 darüber
「」んにちは。記事を書いているのは十月初旬、今年はとても短い秋になりそうですね。そのうち夏の次に冬が来て、秋が無くなってしまうのでは……と悲しくなります。九月は相変わらず編集作業、学生団体の案内、研修やゼミなどで想像以上にあつという間に過ぎてしまい、愕然としています。

村内案内では実質一日ちょっとしかない中、出来る限りの予定を詰め込んでしまいましたが、大きなトラブルも無く無事に終えることが出来ました。皆で地区共有田んぼの稻刈り作業もさせていただき、私も久々の畠仕事でいい汗をかきました。訪問させていただいた方々、本当にどうもありがとうございました。

今年は畠作業を休みにしたせいか、どうとなく味気ない感じがしています。やはり自分の食べる野菜やお米の一部くらいは作りたい、という当初の思いは変つていよいよです。実現できるのはまだもう少し先のことでしようが……。

残すところついにあと一回となつた岡山研修。地域パンフレットや映像等を五名くらいのチームで作成していく、他愛の無い雑談の中から、突然新しいアイデアが生まれる瞬間が面白くて大好きです。

十月は村の各地でお祭りラッシュですね。色々見たいのは山々なのですが、村の方々の聞き取り冊子編集作業にもつと本腰を入れないと当面の目標人数に辿り着けないので、あちこち気が散らないよう、先延ばし癖に気をつけつつ、集中してペースを上げつつ進めていきます。(本多 紗智)

前田 美沙

先月、神奈川県にある江ノ島神社に行きました。すぐ近くのおみくじに書かれていた言葉が強く印象に残りました。

「その地に非ざればこそ樹(つ)」けれども生せず。その意非ざればこそうして生きる「つが考ふる」とが印象に残りました。

植物は、その樹の成長に合ひて、土地に植えなければ種をまいても育たず、枯れてしまつ。人も勉強しようと意図のなじむにいくつ教えよつとしやよい結果は望めないと、意味です。

第一次安倍政権で掲げられた「地方創生」東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げる」とを目的とした一連の政策です。地域おこし協力隊は主に三大都市圏内に住んでる人が応募できることです。つまら多くの人が田舎暮らしの経験がありません。

昨年もそうでしたが、稻刈りが迫つてくるこの時期はそわそわします。というのも、こちらの都合で稻刈りが出来ればいいのですが、新野のライスセンターに委託しているため、今現在は待ての状態です。特に今年は出穂してからの平均気温が高く、登熟が例年より早いため、10月初頭が刈り時でしたが(今日は10月9日、すでに遅し)、おそらく10月20日頃になるのではないかと思われます。その間に雨や風で倒伏したり、イノシシやシカにかき回されたりする恐れがあるので、気持ちが落ち着かないですね。さすがに1町歩強も手刈りやバインダーで刈るのは現実的ではないし、そんな非現実的なことができる超人でもないので、おとなしくお座りしながら待ってます。

ここまでコシヒカリの話なのですが、春頃の新聞にも書いたように今年はあきたこまちも2反ほど栽培していました。なんであきたこまちも栽培したの?ってよく聞かれましたが、単に興味があつたからです。850mの高地にある大河内は気候的にコシヒカリよりもあきたこまちのほうが適してると学術的には言われています。とはいっても近年は平均気温が高くなっているため、コシヒカリでも難なく栽培できるわけですが、様々な環境が要因して収穫量は7俵程度にとどまっています。なので、より高地に適したあきたこまちならばもう少し収量があがるのかと思って栽培を試みました。ところが、先月の新聞にも書いたように自分が1ヶ月ほど休養していたため圃場の管理ができず、適切な比較が困難になりました。なので、あくまでも全体の印象として感じたことを書くと、学術的にはあきたこまちのほうが適していますが、おそらくコシヒカリもあきたこまちも大河内で作る場合は全国の平均収量よりも低くなるのではないかと思われます。というのも、山水を短距離で直接使わざるをえず(自分が管理しているすべての圃場は)、水温が低いため生育に影響が出てしまいます。またその水を温めるのはもちろん太陽なわけですが、山に囲まれた大河内地区は日照時間が短いためそれだけ水温を高めることができず、また稻自身にも光が当たる時間が少なくなるため、早生のあきたこまちは特に分け数や丈の長さ等に影響が出てくるのではないかと思われます。なので、結論としてはどちらも収量が平均以下になるのであれば、コシヒカリのほうが食味が高く、収量もやや多いですし、生育が抑えられることをプラスに考えれば、倒伏する可能性も低くなるため、大河内地区での栽培に向いていると考えます。

10月9日現在

あきたこまちだけ収穫を終えました。

公社にて販売しております!!



まえたの天龍山暮らし～入門～

文：前田美沙

季節の中で一番好きな時期、秋がやつてまいりました。さて、噂で聞いたりして知つてゐる人には、きっと家を貸して頂くことになりました。最近はその家の改装などに時間を割かせてもらつていきました。

天龍村に来た時からアパートではなく、山の方に自由に使える家を借りたいと思っていましたが中々見つからず諦めかけていたところ、村の方の紹介でとてもとても立派な家を貸していただけすることになりました。ゲストハウスとまではいかないのですが、気軽に人が集まる場所にできたらどう思つています。

私は社会人になってから会社の寮やシエアハウスなどに住むことが多く、大人数でガヤガヤ暮らす生活に慣れてしまっていたので天龍村でも若者が集まる溜り場のようなシエアハウスがほしいな」とずつと思つていました。

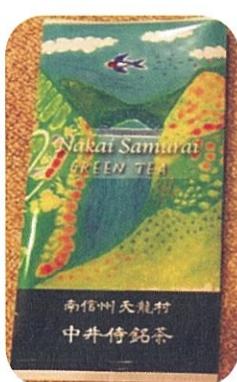
山奥に一度住んでみたいという人は世の中に結構いたりするのですが、外から来た人がなんのツテもなくふらりと来て田舎に暮らすにはまだまだハドルが高く、そんな時に交流しながら人々が住んでいる拠点が何ヵ所かあるというのはとても大事だと感じます。(私もふらりと沖縄に住んだりしてごく刺激を受けたので)お茶摘みの時期にお手伝いに來てくれた人たちが滞在したり、知り合いの知り合いが遊びにきたり、そんなにおもてなしをせず、各々自由になんとなく滞在できるような場所にできたら楽しそうだな~なん

なるので、私自身畑や工場に通うのがとても楽になるのがありがたいです。

どこまでできるかは分かりません。気をつけて頑張ります。そんなこんなで9月はほとんど多くなると思うので迷惑をかけてしまう事もあるかもしれません。気をつけて頑張ります。

作ったり、パッケージを試作しました。それもなんだかまらないので空いた時間に久しぶりに口ゴロゴロを作ったり、パッケージを試作してみました。

頭の中のイメージを絵で表現するにはやっぱり楽しいです。てみたりしていました。



NAKAI SAMURAI GREEN TEA.